

ごみの出し方

見直しましょう



市では、市専用の袋を使ったごみの分別収集を平成五年四月から始めています。そして、昨年七月一日からは塩化ビニール系のごみの分別もスタートしました。この塩ビ系ごみを分別した結果、ごみ焼却場の排出ガスに含まれるダイオキシンの計測数値も大幅に減少しました。このように、分別収集は、目に見える形でも成果をあげています。

家庭のごみを分別して出すことは生活に徐々に定着してきています。しかし、その一方で、ほんの一部ですが、ごみの出し方に関する苦情が絶えません。現代社会では、ごみは生活とは切り離せないものになっています。もう一度ごみの出し方について考えてみましょう。

ごみの分別を

もう一度確認

ごみの収集は、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ、粗大ごみ、有害ごみ、塩ビ系ごみに分けて行われています。ですが、中には、どのごみの日に出したらよいか迷ってしまうものもあります。そこで、市が発行して、各家庭に配布した小冊子「家庭ごみの正しい出し方」を手放せないかたも多いと思います。この小冊子を十分に活用して、正しいごみの出し方をマスターしましょう。特に間違いやすいものは、大きさによってごみの分類が変わるものです。例えば、ぬいぐるみは、大きさが五十センチまでは燃やせるごみ、五十センチを超えると燃やせないごみになります。また、塩ビ系のごみについては、チラシを配布しま

したが、もう一度確認ください。塩ビ系のごみは、燃やせないごみと同じ日で、月二回収集しています。分別収集している塩ビ系のごみは次のとおりです。

・シャンプーや台所用洗剤などの容器

・化粧品の容器（ガラス製は除く）
・卵パックやイチゴパック及びその類似品

・合成皮類（合成皮製の靴、靴、ベルトで、金属類は取り除く）
・食品用トレイ

・ペットボトル（金属キャップは取り除く）

ごみは

収集時間間際に

ごみを出すときに守ってほしいのは、ごみを出す時間帯です。朝は忙しいということから、前日の夜に出すかた、ひどいかたになると、収集日に関係なく出すかたもいます。あまり早くごみを出すと、犬や猫、カラスなどによって袋が破られ、周囲にごみが散乱します。また、冬場の積雪の多い日には、ごみが雪に埋まってしまうこともあります。このような光景を見かけることがあります。これは、当然、ごみの一時預かり所周辺のかたの迷惑になります。